

第37回 本田賞 授与式 報告書

群馬大学修士2年生 佐々木秀

本田賞とは……

「技術を人間の幸福のために役立てたい」と常々語っていた本田宗一郎氏が弟の弁二郎氏とともに私財を投じて本田財団を設立し、創られたもの。利益や効率の追求ではない、自然や社会環境と調和する科学技術「エコテクノロジー」という観点から、世界中の人々の生活の向上に貢献する優れた業績を挙げられた科学技術者を顕彰するためのものである。

今回はセルローズ・ナノファイバーという鉄の1/5の重さで5倍の強度を持つ素材を高効率で製造し、製品へ応用して適用領域の拡大に大きな貢献をした東京大学の磯貝明博士と、京都大学の矢野浩之博士が表彰を受けた。

今回、小林先生が出張で参加できなかったため、代理として参加した。

2016年11月17日（木）に、場所は東京都日比谷にある帝国ホテル「孔雀の間」にて授与式、特別講演、レセプションに参加してきた。





表彰式は盛大に行われて、会場には割れんばかりに拍手が響いていた。
海外の学生なども何人か参加しており、本田賞が世界的にも有名なものであることを感じた。
表彰が終わり、御二方の特別講演が終了するとレセプションが始まった。コース料理が出るかと思っていたのだがどうやらbuffetスタイルらしい。右にみえる鷹の造形は氷で作られていた。まさしく職人芸。





帝国ホテル内にあるお店の職人さんがたくさん集まっていた。寿司にいたっては
その場で握るという徹底振り。隣では蕎麦と天ぷらもあり、それもその場で用意していた。

【以降：食事の写真】



【フルーツの盛り合わせ。丁寧に切って並べられてある】



【和洋様々なものがあり、どれをとっても美味しい。幸せ。】



【個人的にローストビーフと天ぷらが非常に美味しかった】



【ヌードルにビーフシチューをかけて食べるという贅沢の極み】

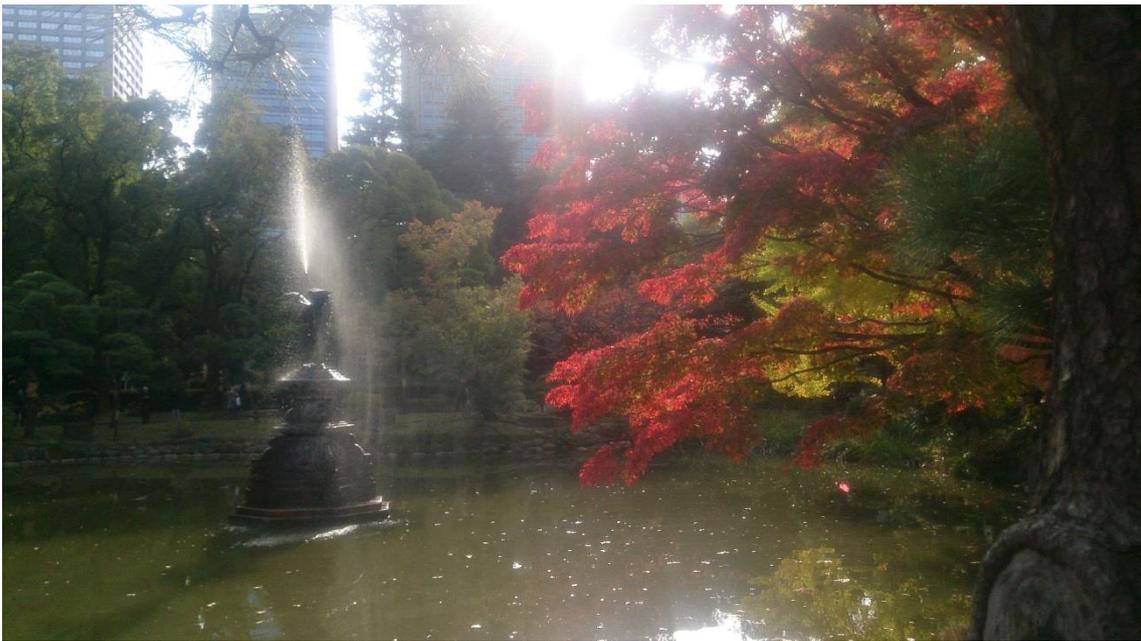
=おまけ=



【たまたまやっていたフェスティバル。魚介のお店がたくさんありました】



【左：蟹の甲羅焼き | 右：アンコウの肝汁】



【菊の展示会や、日比谷公園内の紅葉を鑑賞】



【なぜかペンギンもいたので見てきました】

=最後に=

代理出席という形で、学生の私に貴重な経験をさせていただいた小林先生に感謝の意を捧げます。